



# U LaLa Report

うららレポート

No. 3

## U La La Report について

埼玉大学の学生が授業の一環として「地域の魅力づくり」の課題発見とその解決策をフィールドワークを通じて模索し、成果を発表していきます。

## 子どもと一緒に暮らしたい街、北浦和

私たち埼玉大生のホームである北浦和は、学生だけでなく幅広い世代の人々の生活圏となっています。ここで子育てをしている方などからお話を伺う中で、街との関わりと自分達の将来について考えてみました。

### Town 人々の交流が生まれる街

北浦和に暮らす子育て中の方達からお話を伺っていると、「子育て支援センターうらわ」という施設がよく話題に上る事が気になりました。どんな施設なのか気になったので、施設を訪ねてスタッフの方にお話を伺いました。

この施設の目的は、子育て中の利用者の方の様々なニーズに応じて、訪れた子供たちが



壁いっぱい情報共有の場

が健やかに成長できるようになることです。0歳から3歳未満のお子さんと親御さんを中心に利用されています。子育てに関する悩みを一人で抱える方にも足を運んでいただけるよう、規定や限定などは極力避け、親御さんの気持ちに第一に利用して貰う事を大切に考えた運営となっていて、施設からの情報提供や、利用者の方の間のコミュニティ形成の場としても役立っています。

こちらは繰り返し利用される方もいれば、たまたま出かけ先に立ち寄られる方まで、様々な方が訪れます。利用申請は必要ですが当日でも受付可能です。一期一会を大切に、あらゆる側面からサポートできるような体制になっています。毎月の誕生会や身体測定日など色々なイベントも企画しており、遊ぶだけでも良く、対面

電話での相談を受け付けているので、気軽に多くの方に利用して欲しいとおっしゃっていました。

利用者の方にもお話を伺ったところ、この施設に来ることで楽しく子どもと過ごせるだけでなく、親同士や職員の方と交流できることがとても助かるというお話です。祖父母世代の方もボランティアとして参加しており、様々な人々がつながる場所にもなっている様です。

今回の取材では、施設の方が温かく接してください、楽しげに過ごす親子の姿が印象的だったことから、多くの方に親しまれている場所



親子で過ごす穏やかな時間

だと感じました。実際に、取材に伺った日は開園と共に多くの親子が訪れていました。

子育て支援センターうらわ  
 <社会福祉法人浦和乳幼児センター>  
 ☎048-814-0481 ☎〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-1  
 エイペックスタワー浦和オフィス東館3階  
 [URL] <http://www.urawanyuyouji.com/kosodate/>

### Place 親子の“共育”を学ぶカフェ

皆さんは普段口にする食材にどれくらい注意を払っているでしょうか。「カフェ土瑠茶」には、小さな子どもや妊婦さんも安心して食べられる手作りのメニューが取り揃えられています。月齢に合わせた離乳食の味付けは野菜の甘みを生かして余計なものは使わず、子どもの食の安全に対するこだわりを感じました。

食べる喜びを感じてもらうために、お料理は農家から直接仕入れた有機野菜を使用し



店長オススメの本場アフガニスタンカレー

カフェ土瑠茶  
 ☎048-861-1755  
 ☎〒330-0062  
 埼玉県さいたま市浦和区仲町4-11-14  
 ☎9:00-15:00  
 ☎土日祝  
 [URL] <https://dolce.kmlw.net/>

ています。新しい試みとして自家栽培も始められています。店長さんおすすめのメニューは、こうした有機野菜をたっぷり使ったアフガニスタンカレーで、人気メニューとなっています。

子どもが、人間としての豊かな感性を手作りの絵本や紙芝居といった遊びを通して養い、新たな出会いや発見をするための手伝いをしたいとの思いから、「カフェ土瑠茶」では月に一回チャイルドサロンを開催しています。子どもだけではなく親も一緒に成長できる“共育”の場になっています。またその思いに応えるように、お客様が丁寧にお店を利用してくださいと店長さんが感謝していたのが印象的でした。

店長さんが大切にしてきたものを伝える場所、それが「カフェ土瑠茶」です。お店を訪れたお客様はあたたかく迎え入れられ、お互いに交流を深めています。

### Future これから新しい家族を持つ人々と共に

埼玉大学跡地に作られた北浦和公園は駅西口から徒歩3分の距離にあり、その広大な敷地には大きな噴水広場もあります。元気な小学生からお年寄りまで毎日多くの人々が訪れています。特に目立つのは小さい子ども連れのお父さんお母さんで、この自然豊かな公園は皆の安らぎの場所となっています。

公園内には至る所に芸術家たちの見事な彫刻作品が展示されています。さらに園内には埼玉県立近代美術館もあり、自然だけでなく芸術も楽しめます。子どもが大きくなったら一緒に芸術鑑賞するのも良いですね。

子連れの方にいろいろとお話を伺いました。まず子ども服を取り扱う店や駄菓子屋さんなどの店が近隣にはないという事なので、例えば、いらなくなった子ども服や絵本を販売したり、子育て中の方々が交流できる、フリーマーケットの需要が高い様に感じました。また、



子ども連でにぎわう北浦和公園

球技を行える場所がないとの声もありました。将来私達が親になったときには、より多角的に集える場になってくれると良いと思いました。改めて接すると、北浦和公園は家族の憩い、運動、学習の場として市民の方々に利用されており、北浦和で暮らす人にとって欠かせない場所だと実感しました。

北浦和公園  
 ☎埼玉県立近代美術館 048-824-0111  
 ☎〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9丁目30  
 ☎JR京浜東北線北浦和駅西口より徒歩3分

### 編集後記 北浦和の満足感が見えた

今回記事を書くにあたり、北浦和で生活する私達埼玉大生の将来像と街との関連について考えてみました。しかし子育てを経験していない私達では知識に限界があるので、実際に子育て中の方々にインタビューしました。そこから見てきたのは、北浦和の生活に対する満足感です。アクセスも良く、程良く自然があるこの街は住環境として最適で、人が優しいという声もありました。実際取材先の方々も温かく私達を迎えてくださり、より良い子育て環境を作り出すにあたってのコミュニティの重要性、地域ぐるみの取り組みの大切さを教わりました。こうした長所をより発信すれば、将来多くの親子で賑わう北浦和になっていくと確信しました。



教養学部3年 嶋田 ゆり  
 教養学部1年 長谷川 みゆ

教養学部3年 小村 恭代  
 教養学部1年 武田 紗乙里

担当教授 石坂 督規  
 教養学部1年 木嶋 友香

北浦和公園の場所には以前、埼玉大学文理学部（その前は旧制浦和高等学校）のキャンパスが置かれていました。こうした歴史も影響しているのでしょうか、この公園のある北浦和の街は、埼玉大学の「ホームタウン」としてのイメージが定着しつつあります。そんな北浦和ですが、近年は、子育て世代の居住も増えつつあります。学生たちも、取材を通して、「子育てしやすい街」という新たな魅力を発見したようです。今回の取材にご協力いただいたみなさまに、あらためて感謝申し上げます。

埼玉大学教授 石坂 督規